

2019年9月18日

各位

株式会社北洋銀行



## 東邦銀行との基幹系システム共同化に関する基本合意について

北洋銀行は、千葉銀行、第四銀行、中国銀行(以下、総称して幹事行という)および、日本アイ・ビー・エム(以下、IBMという)とともに、東邦銀行と基幹系システムを共同化<sup>※1</sup>することに基本合意いたしましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 説明

- (1) 幹事行は既にシステムの共同化を完了しており、当行は昨年7月に2022年度からのシステム共同化について基本合意をしております。東邦銀行は昨年3月より、関係各行とシステムの開発内容や共同化によるコスト負担方式などの検討を進め、今般の基本合意に至ったものです。
- (2) 基幹系システムの共同化行が5行に広がったことで、「スケールメリットによるコスト削減」、「商品開発・サービス提供のスピードアップ」、「システム人材の育成」など、共同化のさらなる効果が期待できます。
- (3) 今後は、2023年度に予定する東邦銀行のシステム稼働に向け、各種機能の開発に関係各行が協力して取り組んでいくとともに、システム共同化で得られた知見を他の「TSUBASAアライアンス」<sup>※2</sup>参加行とも共有していくことで、さらなる企業価値向上を図ってまいります。

※1 幹事行および、IBMが共同で開発した基幹系システムを利用し、各種機能の開発や運用・保守を共同で行うことをいいます。

※2 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行および、当行の9行が参加する地銀広域連携の枠組みをいいます。

以上